

太

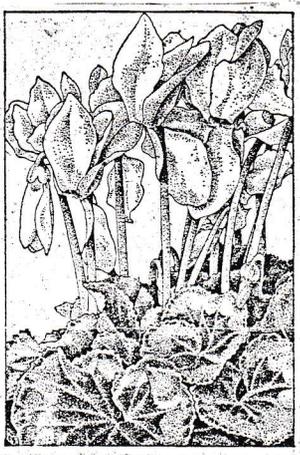


陽

7

《巻頭言》 松山 UFO 写真展

昨年続き、松山市で「UFO 写真展」が今年も開催されたことは皆さんもご存知のことと思います。松山支部代表の伊藤氏がお書きでしたが、今回の場合はマスコミの“オ”が入ったようだ。特にNHKのテレビ取材が入り、回国だけで30万人の方がみよれたようだ。金星人“ホソン氏”の写真が大写しにされたようだ。入場者は昨年を上回り1000人のがあったようだ。テレビはたまたま“わりますか”NHKの取材に、何れも起さそうな気がします。



- 11月例会は事情により中止になったことは残念な気がします。これも何か意図するものがあるのかと思っております。
- 小川君が私(编者)に、話をしていると、気がすとして、宇宙哲学のことが、思ひだし、色々と感じると言うが。

(裏につづく)

日本 G A P 紀 南 会

# 「生命の科学」研究発表

第1課 P.5~宇宙の創造主を認識すると  
青野岡 泉 鈴木謙治郎

私達は、過去の大哲学者達が、偉大な智力を馬区使して、思索探求した後、その一端をかいま見て終った、宇宙の真理の全貌が記された哲学書を、今、手の上において学んでいます。「生命の科学」は、冒頭から宇宙の真実が展開され、「創造主を認識する」為の丁寧な解説の中へ私達は入っていきます。アダムスカー師や、久保田八郎師を知らぬ物理学者、植物学者、医師存どが、それと「木の道で、その途上、創造主の測りしれない英知に直面し、苟く虚に、感奮する」という愛話を、思い出させる章です。  
(完)

P.8~P.12 松口幸之助

この大宇宙空間は、糸色え間なく活動をしている。大宇宙空間の中で、人間が、万物が存在している。何かの人の間で、英知あるものが、生いせしめたのであろうか。このものは、等しい二人の人間は存在しないだろうし、あやうい物もあやういだろう。

(完)

〔近況報告〕

- 病院で母の看病中 (松口)
- 仕事に大忙しい。祝福想念を致して、自分自身が創造物の「母」になってきたみたいとのこと……。 (小川)

1985.11.21

発行

日本GAP紀南会報第7号  
編集発行人 松口幸之助  
発行所 日本GAP紀南会  
〒519-58 三重県南牟婁郡紀宝町平尾井九九三